

施策番号	2701		
施策名	安全・安心な水道・下水道の構築		
概要	安全・安心な市民生活を支えていくため、安全な水道水を安定して供給するとともに、大雨による浸水の被害を最小限に抑え、市民の生命や財産を守る。また、大地震や風水害等の災害にも強い上下水道施設を整備する。		
担当局・部室	上下水道局・水道部，下水道部	共管局・部室	
上位政策	27 くらしの水		
施策に係る主な分野別計画等	京（みやこ）の水ビジョン， 京都市上下水道事業中期経営プラン（2008－2012）		

施策の評価

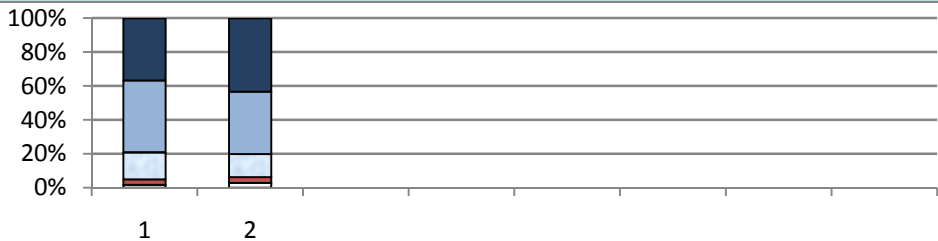
1 客観指標評価

指標名		年度	年度	23年度評価					
				前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標のウェイト
1	水道管路の更新率(%)	-	-	0.48	0.49	-	-	c	1.00
2	道路部分の鉛製給水管の割合(%)	-	-	27.9	24.3	23.8	97.9%	b	0.50
3	有効率(水道)(%)	-	-	90.6	90.4	-	-	c	0.25
4	下水道経年管(戦前に布設した管路)対策率(%)	-	-	74.5	79.3	78.3	101.3%	a	1.00
5	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	-	-	-	-	-	-	-	-	
客観指標総合評価								b	

2 市民生活実感評価

*この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問		23年度回答					有効回答者数	評価
		そう思う	どちらかと言うとそう思う	どちらとも言えない	どちらかと言うとそう思わない	そう思わない		
1	京都の上下水道は、安全で安心していつでも利用できる。	198	229	86	17	10	540	a
		36.7%	42.4%	15.9%	3.1%	1.9%		
2	大雨が降っても、身近な地域で浸水の被害は起こっていない。	248	211	78	19	17	573	a
		43.3%	36.8%	13.6%	3.3%	3.0%		
3	-							-
4	-							-
5	-							-
市民生活実感調査総合評価								a



- そう思う
- どちらかと言うとそう思う
- どちらとも言えない
- どちらかと言うとそう思わない
- そう思わない

3 総合評価(客観指標総合評価+市民生活実感調査総合評価)

B	施策の目的がかなり達成されている						年度	-
	重み付け	☒ 客観指標	b	☐ 市民の実感	a			
(重み付けの理由) 上下水道サービスを支えている浄水場や管路などの上下水道施設は、普段市民の皆様に意識されにくく、その整備の成果がすぐに市民実感につながりにくいものであるため。							年度	-
(原因分析) ・下水道経年管対策が目標を上回って進捗するとともに、道路部分の鉛製給水管の解消がほぼ目標どおり進捗するなど、各取組が概ね順調に進んだことから、客観指標総合評価はb評価となった。 ・市民の実感について、どちらの設問に対しても「そう思う。」「どちらかと言うとそう思う。」と答えた方の割合は高く、上下水道サービスの安全・安心、安定的な供給や浸水被害の対策について、評価を頂いている。							年度	-

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		23年度事務事業評価結果 における目標達成度評価	担当局
		22年度 決算額	23年度 予算額		
1	水道事業	29,433,164	30,234,000	—	上下水道局
2	公共下水道事業	44,463,567	44,747,000	—	上下水道局
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					

*上記の決算額、予算額は、収益的支出の額を記載しています。

<今後の方向性>

・今後も、上下水道施設の地震対策や鉛製給水管の解消、総合的な浸水対策などの取組を着実に進めることにより、市民の皆様に将来にわたり安定的な上下水道サービスをお届けし、安全・安心な市民生活を支えていく。

施策名	2701	安全・安心な水道・下水道の構築				
-----	------	-----------------	--	--	--	--

指標名	水道管路の更新率（％）					
-----	-------------	--	--	--	--	--

担当課	水道部管理課	連絡先	6 7 2－7 7 4 3			
-----	--------	-----	---------------	--	--	--

1 指標の説明

年間に更新した配水管の管路延長の総延長に対する割合（この率が高ければ更新が進むことになり、老朽化した配水管の割合を減らすことができる。）

2 指標の意味

老朽化した配水管の更新を図り、安全・安心なライフラインを構築する取組の状況を示す指標

3 算出方法・出典等

算出方法：年間更新管路延長÷管路総延長×100
出典：京（みやこ）の水ビジョン
上下水道事業中期経営プラン

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	21年度	22年度		数値	根拠	達成度
数値	0.48	0.49	0.01ポイント増	-		-

	全国順位	中長期目標				備考
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値						

5 評価基準

最新数値が
a：1.0%以上
b：0.7%以上1.0%未満
c：0.4%以上0.7%未満
d：0.2%以上0.4%未満
e：0.2%未満

6 基準説明

最新数値が1.0%以上となった場合をaとし、以下5段階に基準設定した。

7 評価結果

		23
-	-	C

1 指標の説明

給水管のうち、道路部分に鉛製給水管を使用している件数の割合

2 指標の意味

水道水質への不安を払拭するための鉛管解消事業の進捗状況を示す指標

3 算出方法・出典等

算出方法：鉛製給水管使用件数÷給水装置数×100
出典：京（みやこ）の水ビジョン、上下水道事業中期経営プラン（事業担当課調べ）

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	21年度	22年度		数値	根拠	達成度
数値	27.9	24.3	3.6ポイント減	23.8	上下水道局運営方針・事業推進方針	97.9%

	全国順位	中長期目標				備考
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値		16	24年度		京都市上下水道事業 中期経営プラン（2008-2012）	改善度：87.8%

5 評価基準

最新数値と目標値を比較して
a：目標値達成
b：目標値未達成で改善度80%以上100%未満
c：目標値未達成で改善度50%以上80%未満
d：目標値未達成で改善度50%未満
e：現状維持

6 基準説明

目標値達成を最高のaとし、目標値に達しなくても改善度によりそれぞれb, c, dに、現状維持であればeと設定した。
※改善度＝（最新数値-前回数値）／（目標値-前回数値）×100

7 評価結果

		23
-	-	b

施策名	2701	安全・安心な水道・下水道の構築				
-----	------	-----------------	--	--	--	--

指標名	有効率（水道）（％）					
-----	------------	--	--	--	--	--

担当課	水道部管理課		連絡先	6 7 2 - 7 7 4 3		
-----	--------	--	-----	-----------------	--	--

1 指標の説明

水道施設及び給水装置を通して給水される年間の水量に対する事業運営上有効と見られる水量(有効水量)の割合

2 指標の意味

安全・安心な水の供給の効率性を示す指標

3 算出方法・出典等

算出方法：有効水量÷給水量×100
出典：厚生労働省水道統計

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	21年度	22年度		数値	根拠	達成度
数値	90.6	90.4	0.2ポイント減	-		-

	全国順位	中長期目標				備考
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値						

5 評価基準

最新数値が
a：95%以上
b：92%以上95%未満
c：90%以上92%未満
d：87%以上90%未満
e：87%未満

6 基準説明

水道の漏水防止対策を進める上で、国が定める目標値90%以上をcとし、92%以上であればb、更に高い目標値95%を超えればa、また、90%を下回ればd、87%を下回ればeと設定した。

7 評価結果

		23
-	-	C

1 指標の説明

戦前に布設し下水道管路のうち経年管対策済みの管路の割合

2 指標の意味

老朽化した下水道管路の機能維持・向上を図り、安全・安心なライフラインを構築する取組の状況を示す指標

3 算出方法・出典等

算出方法：経年管対策済管路の延長÷戦前に布設した管路の総延長×100

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	21年度	22年度		数値	根拠	達成度
数値	74.5	79.3	4.8ポイント増	78.3	上下水道局運営方針・事業推進方針	101.3%

	全国順位	中長期目標				備考
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値		86.9	24年度		京都市上下水道事業 中期経営プラン(2008-2012)	

5 評価基準

最新数値と目標値を比較して
a：目標値以上
b：目標値未満で改善度80%以上100%未満
c：目標値未満で改善度50%以上80%未満
d：目標値未満で改善度50%未満
e：現状維持

6 基準説明

目標値を上回る可能性もあるため、目標値以上を最高のaとし、目標値に達しなくても改善度によりそれぞれb、c、dに、現状維持であればeと設定した。
※改善度＝（最新数値-前回数値）／（目標値-前回数値）×100

7 評価結果

		23
-	-	a